



7月18日（火）に今年度第2回目の学校運営協議会を実施しました。

翌19日は「弘高ねぶた」の運行日で、協議会を実施した18日は、生徒は終日ねぶた制作に取り組む1日でした。委員の皆様には、その生徒の制作の様子を見学いただき、前回に引き続いて、「弘高ねぶた」に関する御意見をいただきました。



また、コミュニティ・スクール特命担当主任より、「コミュニティ・スクール制度の先進校視察」と「生徒の学校運営への主体的な参画の様子」について報告がありました。学校と学校所在地の自治体が一体的に教育活動を行っている岡山県立和気閑谷高等学校と、生徒が学校運営協議会に参加している山口県立山口高等学校についての報告でした。

後半の報告では、「ねぶた運行」の諸手続を生徒が行っている様子を紹介し、自治会執行委員会の生徒が運行への協力依頼をしに、弘前市長や弘前警察署長へ直接訪問している様子に委員の方々は感心していました。毎年の「ねぶた運行」の際の懸念事項で、第1回の学校運営協議会でも話題に上がっていたバス運行の規制を、自治会生徒がバス運行会社にお問い合わせに行き、バス運行会社が協力に応じてくださいました。生徒自身が動くことで社会現象が変わるということ、学校運営協議会での協議により学校課題が解決したことはとても意味あるものです。



### ～委員からの主な御意見～

生徒の意見を表明する場としても必要なので、オブザーバーでもいいので、学校運営協議会に生徒を参加させたほうがよい。

自分の足元のことを学んでから外に出て行く人材になるべきなので、弘前高校のコミュニティ・スクール制度で地域とつながりを持つのは大切なことである。

次回の学校運営協議会は、11月中旬から12月上旬頃に実施の予定で、「探究」の持続的な体制づくりや部活動改革、教員の働き方改革（校務改善）の話題を中心に熟議をする予定です。